



健翔会 法人本部 2025年の報告

2025年3月 理事会
次年度予算審議
当年度補正予算審議

2025年5月 監事監査
2025年5月 理事会
前年度決算審議

2025年6月 評議員会
前年度決算承認
2024年6月 理事会
森の木、花入れについて

2025年7月 森の木入れ

2025年8月 クーポン花入れ

2024年11月 理事会
就業規則の改正
事業活動経過報告
予算執行状況報告



2025年5月
監査役に決算状況、法人内決算
状況等を報告する理事長(右)



2025年5月
理事会にて前年度決算状況を報告
する理事長(右2人目)



社会福祉法人
健翔会

社会福祉法人健翔会

新年のご挨拶

令和8年(2026年)1月15日 理事長 渡辺 弘



2025年12月9日 クリスマス会にて

今年のクリスマス会は過去最高の154名の皆様が集まりました。このようにたくさんの方が参加する会は、たくさんある訳ではありません。終わりまで楽しんでください。私も毎年楽しみにしています。と話された渡辺理事長。

新年のスタートに当たり、ご利用者(児)の皆様、ご家族の皆様、そして役職員の皆様に年頭のご挨拶を申し上げます。

私の住む埼玉県行田市では、大みそか、元日と静かな時間が流れました。元日は晴天の予想でしたが、日の出の方向に厚い雲がかかり、なかなか日の出を拝めない時間が続き、やきもきしました。10分ほど遅れて日が昇ると急に暖かくなります。おてんとう様の力を感じました。元日の午前中は家族が集まり、今年の目標などを話し笑いあっていました。元日の午後から恒例の

家族旅行です。今年は塩原温泉でした。ホテルに到着し、のんびり温泉につかり、新年を祝う夕食をお腹いっぱい食べました。家族そろっての旅行はとても楽しい思い出になりました。

こうやって出かけられるのも健康だからです。普通に生活ができる喜び、皆さんも、忘れないでほしいです。

2025年(令和6年)の地域・国内の出来事



#くるぞ万博
2025年4月13日(日)~10月13日(日) 大阪 夢洲
OSAKA KAISEI JAPAN EXPO2025

2025年も様々な出来事がありました。能登半島での復旧作業の長期化、春は全国的な大雨による土砂災害、夏は記録的な猛暑と電力需給の逼迫が話題となりました。秋は新型感染症の再拡大があり、医療・福祉の現場では緊張が続きました。

国内では、政治資金の問題や物価高騰が引き続き国民生活に影響を与えました。食料品や日用品の値上がりは家計を直撃し、円安やエネルギー価格の高止まりがその背景にあります。また、災害対応や社会保障制度の見直しなど、政治・行政に求められる課題が次々と浮き彫りになりました。

能登半島の地震からの復興は、インフラ整備の遅れや被災者支援の難しさを改めて示しました。水道・道路の老朽化、地域コミュニティの弱体化など、個人や一つの団体では解決できない問題が多く存在しています。災害への備えの重要性を痛感するとともに、地域全体で支え合う仕組みづくりが求められています。

物価高は生活のあらゆる場面に影響を及ぼし、2~3割値上がりした食品も珍しくありません。輸送コストや原材料費の上昇も続き、私たちの努力だけではどうにもならない状況が続いている。

2025年は日常生活の不安が積み重なる一年だったように思います。社会がどこへ向かうのか、その不安を少しでも和らげるために何ができるのか。一つの答えは、私たちの収入が安定し、働く人が安心して暮らせる環境を整えることではないかと思っています。



2025年9月
新生活介護棟「森の木」の地鎮式で
鍛入れをしました。



2025年10月
グループホーム建設会社 高元建設社
長と契約締結式で握手する
理事長(右)



2025年12月
クリスマス会のレクレーションで
プレゼントを袋に入る理事長

健翔会の事業紹介

障害福祉サービス事業

生活介護 麦の穂
生活介護 大地
特定相談支援、障害児相談支援
相談支援センターくじらぐも
(新)生活介護 森の木
(新)共同生活援助 花

障害児通所支援事業

放課後等デイサービス、児童発達
にじいろ
放課後等デイサービス
にじいろプラス

障害児(者)生活サポート事業

障害児(者)日中一時支援事業
太陽光発電事業
地域生活応援事業
埼玉県民あんしん発電事業

2024年(令和6年)の健翔会を振り返る

健翔会の2025年のビッグニュースは、新生活介護棟「森の木」の建設許可とグループホーム建設着工でしょう。2007年麦の穂開設から18年、3つ目の生活介護棟に着手しました。障害種別や障害の状態により、より安心して利用できる環境を作ることが目的です。また、大地震や大雨による災害対策も考えています。今春運営開始です。

グループホームはご利用者ご家族の念願でしたね。何とかしてほしい、とたくさん声が寄せられていました。日中の活動の場と暮らしの生活の場つくりは、障害のあるお子さ



人の人生にとってとても大切ですね。今夏運営開始の予定です。

同時に2つの事業所の建設が始まり、現場はてんてこ舞いですが、これもチャンスです。禪の言葉「大機大用」の意味は「大きなチャンス、これを活かせ」です。

職員の皆さんへの2025年(令和7年)のお願い

2006年9月設立の健翔会は19年目になります。スタッフの皆さんの力が蓄えられ、前述のように新しいことへチャレンジできるようになりました。とてもうれしく思います。

健翔会は事業所数、職員数の増加し、次のフェーズに入りました。そのためには一人一人の職員の役割分担を明確化する必要があります。そこで必要になるのは「理念」です。「理念」は時間や場所を超えて存在することができます。結果、理念が皆さんに伝われば安定した企業になります。理念を知らず、単に障害のある人が通ってくる施設で働いているという職員が増えると、いつの日か健翔会も雲散霧消するでしょう。ご家族から託されているご利用児者をどう支援するのか?何のために支援するのか!これがポイントです。

2つ目に、「言語化」をお願いします。気持ち、考え、思い、心の動

きは見えません。それは「言語化」して伝えなくてはいけません。理念も言葉にしました。皆さんの考え方や思いも言語化して初めて相手に伝わるもので。今はどんな気持ちなんだろう、言葉にしてみよう、これを意識してください。

3つ目に、障害のある方の支援をしてみる皆さんには当然のことだと思いますが、構造化、いわゆる見える化を進めてください。色、形、大きさ、配置などわかりやすいものにしてください。しかも、この見える化の重要なポイントは、皆さんでいろいろ話し合って進めていくことです。やってみて、反省して、作り変える、実はこれがすごいノウハウなのです。

「健翔会がまた何かやってる!」と言われています。実は、健翔会がやっているのではなく、皆さんのが何かやっているということですよ!

おわりに

昔の旅は徒歩や馬でしたが、やがて汽車、自動車、飛行機が生まれ、移動の速さは劇的に変わりました。現代では、必要な場所へ必要な時にたどり着くために、最適なルートを瞬時に示すナビゲーションが欠かせない存在になっています。しかし、どれほど便利な道具があっても、最後に目的地へ向けて一步を踏み出す「速さ」がなければ、成果にはつな

がりません。どの時代も、動き出す速さが結果を左右します。皆さん、どうか「速さ」を手放さないでください。

社会福祉法人健翔会

〒361-0007

埼玉県行田市小見 1141 番地 1

電話:048-554-8815

FAX:048-554-8814

URL:<https://kenshokai.net>

ブログ:<https://www.facebook.com/kenshokainet>